

魚沼市小出郷文化会館管理業務民間委託実施計画（素案）

市民意見交換会 議事録

開催日 平成27年3月23日（月）19:00～21:00

会 場 守門公民館 301会議室

参加者7名 記者1名 アドバイザー2名 事務局3名

質問 私は初めてこちらを見て何が何やらわからないのだが、「子ども達の感性を磨く場」が最初にあり、市内全体の事ではなく、まず子ども達を育成していくことが大前提なのか。

回答 会館設立当初、住民の方が文化を育む会を発足し、そこでつくられた文化会館のコンセプトの中に子ども達の感性を磨くという項目があります。

文化芸術を通して地域の繋がりや発展を目指すといった内容のほか、会館に学生を招待あるいは、逆にアーティストが学校に出向きプロの演奏や本物の舞台芸術を観て頂いたり、子ども芸能祭のような地域芸能の継承の為に発表の場を設けたり、太鼓やリコーダーなど楽器を学ぶ場を提供し、団体の育成に励んでいます。

については、魚沼の子ども達の感性を高めるために実践を行っておりますので、会館が民間委託になってもそのコンセプトの部分は、引き継いで頂こうと思っています。

質問 子ども達の事を中心に考えていくと、収益の上がるようなものは難しいと思う。その下の、「地域文化の中核組織として～」の部分を中心にやった方が、運営ができるのではと思った。

回答 子ども達の感性を磨く事業では、収益が無いことが多く魚沼市から魚沼文化自由大楽実行委員会に毎年1,000万円の補助金が出ています。これから指定管理が為されたとしてもその分の経費は、保証されています。それ以外にも文化庁からの補助金を受けています。そういったものを活用しながら収益が無い部分に関しては、やり繰りをしています。

質問 指定管理者制度にすることによって、文化会館の経費が魚沼市としてどのくらい軽減できるのか。

回答 財団法人ができれば市と協定書を結びます。その中で、財団からの計画が上がってきた段階で初めて細かい金額が出てくるものと思います。

質問 実際、文化会館に年間1億3,200万円経費がかかっている。収入としては、400万円程度だということに理解してよいのか。

回答 はい。この資料では、収入は入っておらず支出だけの数字になっています。文化会館では、年間2,500万円程度の収入がありますが実際入ってくるのは、500万円程度です。残りの

2,000万円は、市の事業や市内の学校、保育園などの使用料と100%減免される団体や、文化協会の利用になっていますので、実際の収入には含まれていません。

質問 文化会館は教育文化の施設であると考えれば、当然市でやったほうがいいのではないかと
いう意見が沢山あると思う。民間委託にすることによって、どのくらい経費が削減できるの
か。

回答 経費の削減もさることながら、魚沼市では職員の数も減らさなければいけないのが現状で
す。会館でも職員の人数を減らし、非常勤職員を雇っているのですが1年雇用ということで
大変不安定で賃金も上がりません。それを解消する手段として、財団法人の職員として雇用
ができるという点があります。

また移行するにあたり人材を一から新しく雇用するのではなく、現在会館で働いている
市の職員から希望をとって、財団法人に2～3年出向できるようにします。

現在の非常勤職員に対しても、財団に移行するまでにホールを担える技術を取得してもら
い、改めて財団法人の職員になる、という方法で今までのコンセプトを継承してもらいた
いと思っています。

管理費については、民間のノウハウを活用することでいくらかでも削減して頂ければと
思っています。

については、今までの実績と財団に移行してからの必要経費を突き合せた中で、協定を結
ぶという形になります。

質問 実施計画（素案）2 指定管理者が行なう業務の基準、〔2〕文化会館の貸館業務について、
宿泊施設とあるが、これは宿泊ができる前提なのか。

回答 現在も行っているのですが、夏に高校生の演劇の合宿で会館を使用いただいています
が、学生は大湯温泉などに宿泊しており、そういった点で連携を深めていきたいです。

また例年行っているジャズセミナーや先日行ったルドルフ・マイスター教授のピアノセミ
ナーでも、小出や湯之谷の宿泊施設を利用しています。

もっと大きいイベントをやって、市外からの宿泊利用者を増やせればと思います。現状
では、難しいです。これからは財団法人の皆さんが、積極的に観光協会と連携して事業を実
施しても良いと思います。

質問 文化会館を宿泊施設として利用するという事ではない、という事でいいか。

回答 はい。文化会館を宿泊施設として利用すると市内の宿泊施設に利益が入らないですし、宿

泊施設ではないので法的にも問題があると思います。

質問 小出郷文化会館の名称について、合併から10年経っているので小出郷ではなく魚沼市にした方がいいのではないかと。財団については、公益にはならないのかどうか。

また財団にするにあたり以前は、簡単に移行できるという話を聞いていたが、時間がかかっているのはどういうことなのか。そして、財団を設立するにあたって市民が手を上げるのを待っているという体制なのか、市がバックアップをして設立できるのかどうか。

管理経費を見ると、正職員が5人で後は、非常勤だという事で管理委託になった時にちゃんとした技術スタッフを確保できるのか、確保する場合はかなりの人件費がかかると思うので心配だ。

そもそも、民間委託をして市は経費の削減になるのかどうか分からない。

回答 まず名称については、合併時に小出郷文化会館の名前が全国的に知れ渡っているという事で魚沼市小出郷文化会館という名称になりました。合併して10年、指定管理に移行する中で名称を変更してもよいと思います。名称については、会館の企画運営委員会でも審議いただいて、必要があれば市民の皆様から募集や投票で決めて貰うのも一つの手法です。

財団法人に移行するのはやはり簡単ではありません。市では財団の約款サンプルなどを用意したり、会館の19年間で黒字が出た分を積み立てた文化芸術基金を切り崩して出資することも検討しています。市としてはできるだけ市民の皆様の手を上げて頂き、支援できる部分は支援させていただくという考えです。

なおそのような動きがない場合は第2第3の考え方というのが出てくることになります。

また技術職員の確保に関しては先ほどの通り、現在の非常勤の技術補助員を市の職員が協力しながら、技術者として養成していくという考えです。

質問 公益には、初めからならないのか。

回答 指定管理を受ける財団が一定の条件を満たして公益財団法人として認定されるようであればもちろんそれでよいと思いますが、ややハードルが高くなると思います。一般財団法人を設立した中で公益化を目指すというのがよいかと思います。

質問 一般財団法人の方が多いのだろうか。

回答 一般から優遇処置のある公益に切り替えるパターンはありますが、それまでの実績評価があるので、簡単にすぐにはなれないと聞いています。南魚沼市と長岡市は公益です。私どもも、一般財団法人で立ち上げ、公益財団法人を目指したいと思っています。

回答 南魚沼市の正確な名称は、公益財団法人南魚沼市文化スポーツ振興公社といます。

質問 既存のNPO法人が業務委託をすることはできないのか。

回答 資料 1、基本計画、P10③運営主体のメリット・デメリットの中に、財団法人にした場合とNPO法人にした場合の比較があります。NPO法人の皆様が母体となって財団化がされれば地域に密着しているので理想だと思います。

質問 今現在、立候補している団体や組織はあるのか。

回答 実施計画をもとに協定を結ぶ形になるのですが、実施計画（素案）の公表が遅れてしまった為、まだ手を上げようという段階ではない状態です。市内以外で、興味を持たれているところはあります。ただ、メリット・デメリットの中にあるように民間会社に任せるものではありません。

質問 実施計画ダイジェストのP3(5)施設の管理運営に係る基本的事項②開業時間、閉館日等によると、「利用者の益となる場合は、指定管理者の判断で行う」とあるが、例えば利用者から無茶な要望があった時などに会館側が不利になるのではないか。利用者と会館双方のという言い方でないと逆にとられてしまうのではないか。また二つ目に、資料4の民間委託スケジュールについて、平成27年度から本腰を入れてPRをして、市民に周知させるために様々な業務が必要となると思うが、関係者は急ピッチで進めて欲しい。それから三つ目に、文化会館設立以来サポーターズクラブというものがあるが、今現在の会員数と1人当たりどのくらい出しているのかがわかったら教えてもらいたい。というのも、サポーターズクラブというのは、継続的に会館を支援している団体なので、財団を設立するにあたり重要なポストであり財源的に支援してもらえる可能性があるのではないかと思った。あわせて、友の会の会員数もざっくりでいいので伺いたい。後は要望として文化協会の会員について今現在、使用料が減額対象になっているが引き続き行ってもらいたいし、できれば減額率アップも検討してもらいたい。先ほどフランチャイズ団体の話があったが、会館設立時には利用率を上げる為に全面的に支援をしてよいと思うが継続的に行っていくことに対しては、不合理だという意見があっても仕方が無いと思う。体育館や公民館を借りる時、普通はお金を払ってもらう訳だから、やはり魚文の中でも事業を精査して何%かでも徴収を行うべきだと思う。

回答 実施計画ダイジェストP3の文について、書き方として利用者の益ばかりではないので、仰る通りだと思います。ありがとうございます。スケジュールにつきましては、今まで事務局で怠慢な部分もありこれからのスケジュールがタイトになっていることは間違いありません。

ん。市民が主体となった財団法人ができないという事になると、スケジュールについても見直しが必要になります。

サポーターズクラブの関係については、ありがたいお話で、これまで会館を支えてきています。サポーターズクラブの支援と類似するかもしれませんが、財団が設立したら企業メセナ、いわゆる企業の社会貢献があってもいいのではないかという市の意見もあります。

使用料の減免については、現在、魚沼市の共催や魚沼文化自由大楽との共催を取り付けて減免をするという例が非常に多いです。その中で、本番の公演自体は減免が良いと思いますが、長期に渡ったりハーサルについては、その間、収入が上げられないということになってしまいますので、減免の手法について再度見直しを進めております。フランチャイズ団体についても、この減免の考え方に通じると思います。100%減免については、おっしゃる通り大変不合理なところがあると思いますので現在検討しています。

回答 サポーターズクラブの会員数については、現在個人、法人合わせて100を切る数字だと思っています。友の会については、230人位です。

アドバイザー

サポーターズクラブについて、今現在事務局は、私ではありませんが開設当初から関わっていました。会社などに文面を郵送し、案内を差上げてはいましたが、特別に営業をした事はありません。一番初めの年は、ご祝儀もあって400万円集まりました。数年前には、このご時世ですので、一口3万円から1万円にしたところ大方が、一口1万に移られました。その結果、年に100万円ほどが入っておりました。今もそうだと思います。それは赤字が出た時の補填ということでやってまいりました結果、今500~600万あるのですが、堅実にやっておりますのでこの方針は変えないでいきたいと思います。

質問 皆さんの意見としては民間委託に賛成だという意見が多いと思うが、私は今の形でなんとかできればやって行ってほしい。財政的に困難な事になっているのかどうか。

回答 資料2のP5・P6にもそういったことがあります。民営化とはいってもあくまでも市が所有し、建物の管理を財団法人にお願いするという事です。

P6にも文化というのは民間でなく行政でやるものだという意見もありますが、そういった意見もごもっともだと思います。文化会館をこのまま市がやるとすると、職員が5名、技術補助員が7名、夜間管理員が3名で回しているのですが、今後は市の職員をもっと減らさなければなりません。非常勤職員だけで会館を回すということは、安全面などから考えても大変に危険です。運営費の予算をこのまま確保できるのかという懸念もありますので、現実

的には難しいです。文化行政を手放す訳ではなく、管理と魚沼文化自由大楽の部分を民間委託の指定管理に出すという事です。

質問 経費を見ると、25年26年と人件費が減っている。技術職員も減っていると思われるが、民間になった時に年数をかけて養成できるのか。確保できるのか。今現在専門職員は十分な状態なのか。

回答 それぞれ音響や照明、総合マネジメントで専門職員が必要となりますが、今現在不足しています。技術職員としての養成は行っていますが、非常勤職員の身分は不安定であり、入れ替わりが激しく、長く務めている方が少ないです。イベントの時は専門業者さんに来て頂いて賄っているという状態です。その他に技術のボランティアスタッフにも頑張ってもらっています。

H22・H23は職員も多かったので稼働率が高いです。H25・H26も稼働率を維持する必要があったのは、文化庁の補助金の関係で事業を増やす計画を出していたので、事業を減らす訳にはいかない事情がありました。近年は非常に職員の負担が大きかったです。事業の見直しも必要だと思います。

質問 少ない人材で頑張っているのはわかる。舞台とか照明は、きちんとした設備があるので、市も責任を持って、お金をかけて、しっかりと人材を養成してほしい。民間委託になっても是非お願いしたい。

回答 27年度は専門学校や舞台経験がある方など、経験者ということで募集をかけて、なんとか4名入ることになりました。その人材を育て、財団法人に送り出すというのがこれからの私たちの仕事です。

質問 文化協会で会館と関わってきたが、市は専門職を育てる場所じゃないし、オールラウンドな職員を育てなければいけないので民間委託はやむをえないと思う。

回答 固定した職員を置くのは市の行政で行うのは難しいと思います。やはり財団法人の中で育成していかなければいけないです。

アドバイザー

皆様ご苦勞様でした。最初は堀之内会場で11名、広神会場で5名、小出が23名、本日が7名といった出席状況です。基本計画・実施計画の表を見ていただきたいのですが、魚沼市、それから民間業務委託市民・行政検討会議の連名でできました。もう一方のアドバイザーと

私は、この機関の委員長・副委員長ということで出席しています。この市民行政検討会議は、文化会館の関係者が半数くらいと各地域の区長さんと合わせて10数名が、係わっています。6か所の意見交換会の意見を聞いて、この実施計画の素案を練り直し、完成形を目指します。スケジュールについては、非常に困難だと思っています。今の文化会館は行政が引っ張っていかなければ、民営化は難しいです。300万で財団はできると言いますが、実際はスタッフの給料などもかかってきて相当な財源が必要ですし、市の基金が2,000万あるという話ですが財団が設立の際には必要になってくるだろうというイメージです。

資金を出すということで例えば市長が理事になるという事も考えられますし実際、長岡では市長さんが入っているという話です。10年間指定管理で文化会館が出したとしても、10年間うまく運営できるかというとなかなか大変だと思います。財源としては、チケット収入、文化庁の補助金、そして地域創造という財団法人からの補助金を賄っていますが、国の財政も厳しく27年度、文化庁の補助金が当初予定していた金額より減額されたため、予定されていた自主事業も止めざるをえないという状況です。

そんな中で、指定管理期間を10年でスタートするのは、ハードだと思います。先週もニュースで堂本光一の公演で事故がありました。そういった公演中の事故が起こった場合の責任もこの財団法人に求められているのが実施計画です。しかし、非常にハードな実施計画になっていますので財団法人が立上らないということになると、3~5年これからも市がやっていくということになりますが、市の行政改革プランがありますし難しいです。いろんな意見をお聞きした上で、これなら大丈夫だということに任せなければならないので、これからも詰めていかなければならないと思います。

質問 手が上がらなかつたら文化会館はどうなるのか。

回答 先ほど少し申し上げたように、近隣で全国的に展開をしている企業等が目を付けています。市民の皆さんが本当にそれでいいのかどうか、そこに出してしまうのは簡単ですが、今まで文化会館が19年間積み上げてきたことは無かった事になりますので、市民の皆さんが中心となった財団法人を願っています。

アドバイザー

住民参加型のホールをという理念は、共通して引き継いでいきたいと思っています。新しい財団ができたとしても、数年間は市の職員がそのまま出向という形で関わらないと難しいだろうと思います。